

札幌市小学校における英語教育推進のすすめ2 —小学校外国語の適切な学習評価に向けて—

小学校外国語の学習評価におけるポイント

(1) 学習評価について

小学校5・6年生の外国語における学習評価は、他の各教科等と同様に以下の2点が大切です。

- ・教師の指導改善につながるものにしていくこと
- ・子どもの学習改善につながるものにしていくこと



(2) 観点別学習状況の評価の観点について

小学校5・6年生の外国語における観点別学習状況の評価の観点は、他の各教科等と同様に「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点到整理されます。

(3) 外国語における評価規準について

英語の目標は、「聞くこと」「読むこと」「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」「書くこと」の五つの領域で示されています。そのため五つの領域ごとの評価規準に基づき各単元の評価規準等を作成する必要があります。

五つの領域ごとの観点別評価の考え方

	聞くこと	読むこと	話すこと		書くこと	観点別 評価	評価
			[やり取り]	[発表]			
【知】						A・B・C	1・2・3
【思】						A・B・C	
【態】						A・B・C	

指導要録に記載
(学年末)



年間を通じて全ての領域・観点を見取ることができるよう、上の考え方を基に評価を行うことが大切です。

これまで外国語活動で大切にしてきた、主体的に英語でコミュニケーションを図ろうとする態度の育成や英語によるコミュニケーション能力の基礎を養うために、「実際に英語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合う」という言語活動について今後もより一層充実を図っていく必要があります。



これから始まる小学校5・6年生の外国語の学習評価について適切に取り組むために、三つの事例を紹介します。

※札幌市では、令和元年度から市立の全小学校において、校内の英語教育コーディネーター役となる英語専門教師が位置付いています。

	to	3
	to	3
	to	3
	to	3
	to	3



Date: month/day () / () / ()

Unit 6 I want to go to Italy.

/ 8 時間

Class ()	Name
Number ()	()

- ①<今日のめあて>
- ②<めあての達成度> 3 • 2 • 1
- ③<学んだ英語表現>
- ④<"I want to ~."を使って自分のしたいことを友達に伝えることができた。 3 • 2 • 1
- ⑤<「友達の行きたい国についてよく分かったこと」や「友達のよいところ、がんばっているところ」を書こう。

Unit 6 I want to go to Italy.

できることにのをつけましょう。
(前) とてもよくできた→3 できた→2 →がんばった→1

行きたい国や地域について説明したり、自分の考えを整理することができました。

[3・2・1]

行きたい国や地域について、自分の考えや気持ちを英語で書き出すことができました。

[3・2・1]

構造的に行きたい国や地域について、その理由もきめながら自分の考えや気持ちを整理することができました。

[3・2・1]

[3・2・1]

○単元全体を通して、できるようになったことやわかったこと、これからさらにできるようにしていきたいことなどについて書きましょう。



CAN-DO

CAN-DO

CAN-DO

「話すこと [やり取り]」における観点別学習状況の評価について

～第5学年 We Can! 1 Unit 2 When is your birthday? (5/7時間)における「話すこと [やり取り]」の学習活動の例～

■ 「話すこと [やり取り]」の学習活動のポイント

- ①チャンツなどの活動を通して、少しずつ語句や基本的な表現に慣れ親しむこと。
- ②目的をもってやり取りをすること。
- ③伝えたい、知りたいという思いを基に、既習の英語表現等を使うこと。

○ 「話すこと [やり取り]」の【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】の学習評価

- ・【思考・判断・表現】における学習評価は、場面や目的、状況などに応じて、子どもが実際に英語を使って、自分の気持ちや考えを伝え合う姿を見取ること。
- ・【主体的に学習に取り組む態度】における学習評価は【思考・判断・表現】の観点とともに見取ることが可能であること。
- ・記録に用いる評価は実現状況が把握できる単元の後半などの段階で行うこと。

○ 本時における「話すこと [やり取り]」の【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】の評価規準例

- ・自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて尋ねたり答えたりして伝え合っている。【思考・判断・表現】
- ・自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、他者に配慮しながら、誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて積極的に尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】

○ 本時における子どものやり取りの事例における【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】の学習評価について

子どものやり取りの例と学習評価例

C1 : When is your birthday?	C2 : December ...10th.
C1 : Do you like blue?	C2 : Yes. Blue!
C1 : Do you like baseball?	C2 : Baseball? No. No, baseball.

※上のやり取りでは、C2の子どもはC1の子どもの質問には答えているものの、C1の子どもに誕生日などのことについて尋ねてはいない様子が伺えます。このやり取りではC2の子どもに対する評価は【思考・判断・表現】の観点において、努力を要する状況と判断します。事後指導として、教師は見本を示しながら子どもが尋ねたり答えたりする場面を設定するなどして、C2の子どもの学習改善に努めます。改善の結果、場面などに応じてC2の子どもが尋ねられるようになるとおおむね満足できる状況と判断します。

【主体的に学習に取り組む態度】の観点については、C2の子どもに、自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりする目的に向けて、他者に配慮しながら、コミュニケーションを図ろうとする意欲が見られた場合、おおむね満足できる状況と判断します。



作成委員
小学校英語専門教師配置事業
令和元年度研究推進校

・幌西小学校 ・本町小学校 ・本通小学校 ・厚別通小学校 ・西岡南小学校
・平岡南小学校 ・石山緑小学校 ・山の手小学校 ・手稲東小学校 ・手稲中央小学校

事務局 札幌市教育委員会教育課程担当課

制作・発行 札幌市教育委員会「札幌市小学校における英語教育推進のすすめ2」令和2年3月発行

印刷 小南印刷株式会社 札幌市中央区北9条西23丁目2-5